

報道関係各位

日本EVクラブ

代表 館内端

日米EV航続距離競争勃発

EVに夢とロマンを！

「東京～大阪途中無充電ミラEVの旅

そんなに走ってどうするの」決行！！

日本EVクラブでは、11月17日(火)に、自作の電気自動車で「東京～大阪途中無充電ミラEVの旅 そんなに走ってどうするの」を決行します。

この旅は、東京日本橋から大阪日本橋までのおよそ560キロメートルを、日本EVクラブで製作したミラEV(電気自動車)で、途中で1度も充電することなく走り抜くものです。

電気自動車による途中無充電での560キロメートルに及ぶ走行は、完走すれば10月27日に米国Tesla Motorsの打ち立てた途中無充電航続距離501kmを抜き、**世界新記録**になります。すでにギネスに申請しています。

ご案内

電気自動車は、1充電の航続距離が短く使えないという意見があります。一方、日常生活における自家用車の平均走行距離は20～30キロメートルだから、電気自動車の航続距離は短くても困らないという意見もあります。いったい電気自動車の航続距離はどの程度が適切なのでしょう。

私たち日本EVクラブでは、電気自動車の適切な航続距離について論議するための情報のひとつとして、1回の充電で走れる最大の距離をご提案したいと思います。それが今回の「東京～大阪途中無充電ミラEVの旅 そんなに走ってどうするの」です。

ところで、電気自動車のベンチャー企業として世界から注目を集める米国のTesla Motorsは、10月27日に電気自動車のテスラ・ロードスターで、オーストラリアにおいて途中無充電で501kmを走ることに成功、世界記録を樹立したとしています。世界電気自動車航続距離競争に打って出たのではないのでしょうか。私たち日本EVクラブは、この記録に挑もうと思います。東京日本橋～大阪日本橋はおよそ560キロメートルですから、悪条件が重ならなければ走行可能です。

ベース車両は、ダイハツ工業株式会社の軽自動車のミラバンです。軽自動車という小さな車体であっても、560キロメートル走るための電池を収納することができました。また、電池のほとんどを床下に収納していますので、乗車スペースや荷物スペースが犠牲になっていません。航続距離が短いといわれる電気自動車ですが、小さなクルマでも東京から大阪まで途中で充電

せずに走れるわけです。電気自動車は航続距離が短いというのは、誤解です。しかし、問題がないわけではありません。

内燃機関自動車であれば、補給した燃料は走行距離が伸びるにしたがって減ります。また燃料のエネルギー密度が高いためにそれほど重くありませんし、燃料タンクが大きくて困るほどではありません。航続距離が長いことは、さほどの犠牲を伴いません。

しかし電気自動車の電池は、走っても体積が小さくなったり、重量が軽くなったりしません。なるべく少ない電池で走る方が省エネルギーで、コストも安くなります。

たとえば私たちのミラEVの場合、日常で20~30キロメートルの距離を走るとなると、およそ530~540キロメートル走るための電池をそのまま載せて走ることになります。大いなるムダです。

電気自動車は航続距離が短くて使えないから、もっと航続距離を長くしろというご意見は、場合によってはムダを強要してしまうとも限りません。一方で、電気自動車で遠出をしたり、仕事で長い距離を走りたいユーザーもいるでしょう。いったい電気自動車の航続距離はどの程度が適切なのでしょう。

私たちのミラEVによる旅を材料に、活発な議論が起こることを期待します。「... そんなに走ってどうするの」という反語的タイトルには、そんな気持ちが込められています。

日本EVクラブ
代表 館内端

◆東京～大阪途中無充電ミラEVの旅 スケジュール◆

【出発】11月17日(火) 午前3時 日本橋(日本橋三越近辺)

【走行ルート】

東京日本橋(AM3時出発)→首都高速→用賀→東名高速→浜松IC→国道1号→国道42号→国道23号→豊明IC→伊勢湾岸自動車道→四日市IC→東名阪自動車道→亀山IC→名阪国道→大内IC→国道163号→国道24号→第2阪奈道路→大阪日本橋(PM3時)

【到着】11月17日午後3時~4時 大阪日本橋

到着式 11月17日午後5時~7時

ウエスティンホテル大阪(大阪府大阪市北区大淀中1-1-20)

【帰路日程】

11月18日(水) 大阪(三洋電機本社訪問、東洋ゴム伊丹テクニカルセンター訪問)
→淡路島洲本市

11月19日(木) 淡路島洲本市(三洋電機モバイルエネルギーカンパニー訪問)→徳島市
(三洋電機徳島工場訪問)→フェリーにて和歌山へ→奈良

11月20日(金) 奈良→三重県桑名(東洋ゴム桑名工場訪問)→静岡市

11月21日(土) 静岡市→ 富士市(世田谷区親子EV教室参加者と合流)
親子EV教室同乗試乗 → TOYO TIRES ターンパイク → 東京着

◆ミラEV 諸元◆

ベース車両 ダイハツ・ミラ・バン 5速MT車

駆動方式 前2輪駆動

寸法・重量

全長×全幅×全高 mm 3395×1475×1530

ホイールベース mm 2490

トレッド 前/後 mm 1320/1310

車両重量 kg 860

最大積載量 kg 200

乗車定員 2名

モーター

種類 DCブラシレス同期型

定格出力 kW 14

最高出力 kW 35

電池

メーカー 三洋電機

種類 リチウムイオン

型式 UR18650F

本数 8320

総電圧 V 240.5

総電力量 kWh 74

充電時間

充電器 6kW

充電時間 1分/km

(1km 走るのに必要な充電時間は1分間)

タイヤ

メーカー 東洋ゴム

ブランド TOYO TIRES ECO WALKER(エコ・ウォーカー)

サイズ 165/50R15



◆東京～大阪途中無充電ミラ EV の旅

協賛 東洋ゴム工業株式会社 株式会社トーヨータイヤジャパン

協力 三洋電機株式会社

主催・企画・運営 日本EVクラブ

※本件のお問い合わせ先

日本 EV クラブ事務局 石川響子

156-0043 東京都世田谷区松原 5-14-7-301

TEL:03-5376-8446 FAX:03-5376-5310 admi@jevc.gr.jp